

# きのこ・ながさき



(ガーネットオチバタケ近縁種の発光)



(ヒメホタルタケ近縁種?の発光 )

# 25

令和7年3月  
長崎きのこ会

## 会長挨拶

長崎きのこ会 会長 山川 続

3月3日、総会及びスライド学習会を行い、今年もほぼ月1回のペースで定例観察会を行いました。11月17日、来年の写真展用のきのこ写真選定およびきのこ鍋会・反省会をして、一年の活動を終わりました。

5月、「長崎のレアきのこゲットせよ！！」(KTN ソサエティ)の収録を「狸ノ尾ため池水源の森」(大村市)で行い、カンゾウタケ、ガーネットオチバタケ近縁種、ヒメホタルタケ近縁種を観察し、ヒメホタルタケ近縁種の発光を現地で確認しました。帰宅して、ガーネットオチバタケ近縁種の発光を確認できたのに驚きました。また、7月は「よルーじげ」(長崎国際テレビ NIB)の収録で高級食材キヌガサタケを探しましたが、時期が遅かったのと少雨・猛暑のため、見つかりませんでした。

定例観察会で観察した代表的なきのこととして、ヒメホタルタケ近縁種・ムラサキフウセンタケ(5月、狸ノ尾ため池水源の森)、ウスタケ・ニクウチワタケ(6月、修多羅の森)、アカヤマドリ・アケボノタケ近縁種・シバフウラベニタケ(6月、長崎県民の森)、クロラッパタケ・ヌメリアシナガイグチ仮称・ミツイロベニタケ仮称(7月、上山公園)、コウモリタケ・フジウスタケ・タケリタケ・ツヅミタケ(8月、白雲の池)、イボタケ・コショウイグチ・ミドリニガイグチ(8月、長崎県民の森)、アオゾメツチカブリ・コガネヤマドリ・シミタケ・モミタケ・アオノキノコヤドリタケ(9月、修多羅の森)、アオゾメクロツブタケ・ウススキキヌガサタケ・オオアワタケ(仮称)?・コウボウフデ(9月、長崎県民の森)、アカジコウ・ウススキキヌガサタケ・キツネノハナガサ・キホウキタケ?・ダイダイイグチ・ハナサナギタケ(10月、長崎県民の森)がありました。

本会はきのこを探し、写真を撮り、時には食べて楽しむだけでなく、きのこを通して自然とふれ合い、仲間との交流を深めることに重きを置いています。そして、地域社会へ貢献することを願っています。今後も写真展やメディアの取材を通して、きのこの魅力を伝えていきたいと思っています。

この冊子は令和6年の長崎きのこ会の活動を中心にまとめました。皆様のお役に立つことができれば幸いです。

---

## 目 次

令和6年 長崎きのこ会活動結果	2
定例観察会(第1～10回)	
長崎のきのこ写真展	23
長崎ブリックホール、長崎県民の森「森林館」	
【会員の広場】	24
野生のきのこを食べてみる	大江 幸子
令和6年に出会ったきのこたち	山川 続
長崎県生物学会第55回大会 口頭発表レジュメ	26
長崎市内で確認したアリノタイマツ(地衣類)	
令和7年 きのこ観察計画	27
長崎きのこ会役員	
友好きのこ会の会報・機関誌等	28
きのこの賑わい	

---